

中オソ小の取組

豊かな体験を大切にした教育活動



「自分のことは自分でできること」「友だちと自分の考えを伝え合うこと」は将来を生きる子どもたちに確実に身に付けさせたい力です。

そのために、本校では、学習活動の中で子どもが豊かな体験を味わうことを大事にしています。

身近な人・もの・事がらとかかわることは「そうだね」「なるほどね」と子どもが納得したり実感したりするきっかけになるとともに、「今度は自分でやってみよう」「どうしたら目の前の人に自分の気持ちや伝わるかな」など、子どもの学びたいという思いや相手を思いやる気持ちを膨らませたりすることにつながると考えるからです。

今年、特に身近な「人」とたくさんかかわることを学

習活動の中で大切にしてきました。

低学年では、生活科の学習で開いた自分たちの「お店」に保育所の子もたちを招待します。「どんな飾り付けをしたら保育所のみんなが楽しんでくれるかな」「もつと喜んでもらうにはどんなゲームにしたらよいか」「こんな子どもたちのつぶやきが教室から聞こえてきます。

中・高学年では、総合的な学習の時間で農園に育てた中オソ産のそばを原料にして、日ごろお世話になっている地域のお年寄りをご招待し、味



わっていたいただきました。そば打ちの手ほどきには、地域のそば打ち名人が登場です。

「昔はみんなこうやって自分の手でそばを育てて打ったんだよ。」というお年寄りの話を傾けていると、実際に農園でそばを育てることの大変さが分かり、先人の苦労が身近に感じられます。「おじいちゃん、おばあちゃんに何とかおいしく味わってほしい」と心を込めてそばを打ち、つゆを作りました。

本校では、これからも身近な人はもちろん地域の自然、文化、産業など子どもの学びを豊かに広げる「体験の宝」に子どもを出会わせていくことを大切にしたいと考えています。

図書館だより ☎485-2300



■開館時間■

火～木曜日：午前10時～午後6時
金曜日：午前10時～午後9時
土・日曜日：午前10時～午後4時
休館日：月曜日・祝日

絵本パフォーマンス

○日時 / 3月20日(土)
午前10時30分～
11時30分

○入場料 / 無料

岸田典大さんによる絵本+音楽+aの楽しいステージであり、絵本に興味がない方も不思議とつい引き込まれてしまいます。



図書館展示

「みやにしいづみ作品展」

○期間 / 3月19日(金)～4月7日(水)

東京で活躍する作家にしてイラストレーター、みやにしいづみさんの作品を展示します。温もりと優しさにあふれた作品の数々をご鑑賞ください。

ほくでん停電情報 サービスのお知らせ



停電発生時に専用フリーダイヤルへお掛けいただきますと、無料で現在の停電地域などの情報を音声メッセージによりお知らせする「ほくでん停電情報サービス」を実施しております。

24時間対応

フリーダイヤル ☎0120-547-121

※数分程度の短時間停電については、サービスの対象外となります。

※停電発生から音声メッセージによるお知らせまでには、若干の時間を要する場合があります。

また、通信システムの緊急メンテナンスなどにより、一時的に停電情報の更新が出来なくなる場合がありますので、ご了承願います。

北海道電力お客さまセンター
☎0154-23-1112

いちや大好き人間

標茶町では大切なことを教わりました

やなぎざわ
柳澤さなえさん



今月は標茶高校3年生の柳澤さなえさんを紹介します。
柳澤さんは東京都出身で、この春高校生活を卒業します。標茶町に来たきっかけは、16歳のときにかんぱちを釣り生き物に興味を持ちはじめ、農業高校で生き物に触れる機会を求めている中、知人からの紹介で標茶高校を見学しました。そのときの標茶町の印象は、「汽車から見た景色は、釧路湿原が一面と広がって

いてとても感動しました」と話し、学生寮があつて自然が豊かな標茶町を気に入って高校の進学を決意されたそうです。「入学当初はホームシックにもなりましたが、同級生や先生に支えられ、楽しい高校生活を過ごすことができました」と話す柳澤さん。

高校3年生のときには農業クラブの会長を務め、「自分たちで作った食材を食べる機会があまり無い」と感じ、自分たちが作った野菜や牛乳などを自分たちで調理して味わう「収穫感謝集会」を企画。「この標茶高校でたくさん仲間と出会うことができたので、実行することができました」と笑顔で話してくれました。高校生活を過ごした感想について、「自分で農作物を作るなどたくさんの方にお世話になりました。卒業して標茶町を離れるのは正直寂しいです」。柳澤さんは北海道大学に進学することが決まっていますが、「これからでも標茶高校で学んだことを生かして、大学生活でも色々なことに挑戦していきたいです」と今後の抱負を述べており、これからの頑張りが期待されます。

最後に柳澤さんは、「標茶町でも大切なことを教わりました。本当に感謝しています。思い出が詰まった土地なので、ぜひまた来たいです」と話し、標茶町への思いを語ってくれました。

みんなの作品展

文芸作品

川柳 (標茶川柳の会)

- 二月もう今年の抱負どこへやら 佐藤 精子
- 喜寿米寿卒寿の文化もうサラバ 大沼 良治

俳句 (標茶菱の実吟社)

- 供養にと友は母織る袷なり 若林 鶴代
- 雪虫を語れば又と熱くなる 横山 樹木

短歌 (自生林短歌会)

- シラルト口五十石草原コッタ口湖 このあたりヨーロッパの風景に似る 井本 花子
- しみじみと夕陽見つめる向ふには 大正見ゆるか姑の姿よ 池田シゲノ
- 笑顔だけたくさん置いて手を振りて雲にかくれた小さなジェット 大山 弘子

絵手紙の会



山本 フミ子さん (虹別) の作品



駒井 米子さん (麻生) の作品